

\*\*\*\*\*2009.9.29\*\*\*\*\*

CGL NEWS Ⅲ Vol.37

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green>

\*\*\*\*\*

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. グリーンロジスティクスチェックリスト 2009年度調査へのご協力をお願い
2. 一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成19年度速報)について(環境省)
3. プラスチック製容器包装の再商品化に伴う環境負荷の削減効果について(環境省)
4. ロジスティクス強調月間2009のご案内(JILS)

★-----  
グリーンロジスティクスチェックリスト 2009年度調査へのご協力をお願い

★-----  
グリーンロジスティクスチェックリスト調査とは、  
「グリーンロジスティクスチェックリスト」で紹介されている  
環境負荷低減活動項目の取組状況を集計・分析するとともに、  
回答企業に対して、集計結果(全体平均、業種平均と貴社回答)等を  
整理した簡易診断結果をお返しすることにより、自社の現状の取組度合いを  
ご確認いただき、今後の取組を進める際の参考資料としていただくことを  
目的としております。

2008年度調査では、環境会議メンバー企業を中心に114社の方にご回答  
いただきました。

<グリーンロジスティクスチェックリスト調査  
2008年度結果概要(CGLジャーナル第2号) PDF1.8MB>  
<http://www.logistics.or.jp/green/info/pdf/cgljournal3vol2.pdf>

2009年度調査実施にあたり、取組を進める際にヒントとなる  
参考情報欄に新たな情報を追加いたしましたので、そちらを  
ご確認いただくとともに、今年度につきましても、  
調査にご協力いただきたく存じます。

なお、今年度は回答企業200社を目標としておりますので、  
環境会議メンバー企業の皆様のご回答とともに、皆様のグループ会社、  
関係会社、取引先の方等にもご案内いただければ幸いです。

詳細は、下記グリーンロジスティクスチェックリストのページの  
<「グリーンロジスティクスチェックリスト 2009年度調査」について>  
をご参照下さい。  
<http://www.logistics.or.jp/green/report/08checklist.html>

<問い合わせ先>  
社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
事務局 栗原、北條  
03-5484-4021  
kurihara@logistics.or.jp

★-----  
一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成19年度速報)について(環境省)

★-----  
環境省は、平成19年度における全国の一般廃棄物(ごみ及びし尿)の排出及び処理状況等に関する状況についての調査結果を公表いたしました。

#### 1. ごみの排出・処理状況

(1)ごみ排出の状況:ごみ総排出量、1人1日当たりのごみ排出量ともに減少。  
・ごみ総排出量5,082 万トン(前年度 5,204 万トン)[ 2.3 % 減 ]  
・1人1日当たりのごみ排出量1,089 グラム(前年度 1,116 グラム)[ 2.4 % 減 ]

(2)ごみ処理の状況:総資源化量・リサイクル率は着実に増加、最終処分量は前年比6.8%減少。

2. 最終処分場の状況: 残余容量は平成10年度以降9年間続けて減少、最終処分場の数は平成8年度以降11年間続けて減少し、最終処分場の確保は引き続き厳しい状況。

最終処分量が減少していることから、残余年数は横ばい。

関東ブロック、中部ブロック等では、最終処分場の確保ができず、域外に廃棄物が流出し、最終処分が広域化。

(平成19年度末現在)

・残余容量1億2,206 万m<sup>3</sup>(前年度 1億3,036 万m<sup>3</sup>)[6.4%減]  
・残余年数15.5 年(前年度 15.6 年)

詳細は、下記環境省のホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11570>

★-----  
プラスチック製容器包装の再商品化に伴う環境負荷の削減効果について  
(環境省)

★-----  
環境省は、容器包装リサイクル法に基づくプラスチック製容器包装の再商品化に伴う環境負荷削減効果のLCA分析を実施していますが、今回、現行の容器包装リサイクル制度の効果や、排出側の取組による効果等についてのLCA分析結果を公表いたしました。

その結果、現行の容器包装リサイクル制度の効果については、分別せずに現行技術で焼却した場合との比較のみならず、全量高効率のごみ発電施設で焼却発電を行う場合と比べてもなお、容器包装リサイクルを行った方がCO<sub>2</sub>排出量が少ないこと等が明らかとなりました。

また、排出側の取組の効果については、質の高い分別収集により、分別収集・リサイクルに係る環境負荷分析の結果は十分に変わりうることが示唆されました。

詳細は、下記環境省のホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11575>

#### ----- ロジスティクス強調月間2009のご案内(JILS)

JILSでは毎年10月を「ロジスティクス強調月間」と定め、ロジスティクスの普及・促進と地域活性化を目的に、全国的な規模でキャンペーン活動を展開しております。

その活動の一環として、東京、名古屋、大阪、福岡の4地区にて「講演会」「改善事例発表会」を開催いたします。

～ロジスティクス強調月間2009 統一テーマ～  
《ロジスティクスによる企業価値の向上を求めて》

《ロジスティクス強調月間2009》の概要およびサポーターは、  
下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/fukyu/2009/index.html>

★

■「ロジスティクス全国大会2009」(東京)開催のご案内

★

【会 期】2009年10月27日(火)～28日(水)

【会 場】大手町サンケイプラザ

【テーマ】ロジスティクスによる企業価値の向上を求めて

今、企業にできること ～経営・グローバル・環境の視点から～

【内 容】

本年のプログラムでは、経営、グローバル、環境をキーワードとした『企業価値の向上を目指したロジスティクス戦略』、『激流の時代を生き抜くグローバルロジスティクス』、『グリーンロジスティクス推進による経営力向上を目指して』という3つのセッションにおいて、先進企業による事例発表が行われるほか、『2009年度ロジスティクス大賞』受賞企業によるロジスティクス高度化への取組み事例の発表を予定しております。

昨今の金融危機の影響により依然厳しい経済状況が続くなか、貴社のロジスティクス高度化のヒントを導き出す機会になることと確信いたしております。

関係各位の積極的なご参加を心からお待ち申しあげております。

プログラム内容の詳細・お申込は、下記URLをご参照下さい。

[http://www.logistics.or.jp/fukyu/experience/meeting/zenkoku\\_09.html](http://www.logistics.or.jp/fukyu/experience/meeting/zenkoku_09.html)

【問い合わせ先】 普及開発部:松井、星野 matsui@logistics.or.jp

★

■中部支部設立10周年

「中部ロジスティクス記念講演会」開催のご案内

★

【会 期】2009年10月14日(水) 11:00～17:00

【会 場】ウェスティンナゴヤキャッスル

【内 容】

本年、中部支部は設立から10年の節目の年を迎えることができました。そこで、常日頃より支部活動を支えていただいております会員の皆様をはじめ、関係者の方々への感謝をこめて、支部設立10周年を記念する講演会および懇親の場を、「ロジスティクス強調月間」にあわせ開催することとなりました。

本記念講演会では、中部支部運営委員会の初代委員長であり、また当協会の前会長で、第1期ロジスティクス環境会議の議長でありました、

トヨタ自動車㈱代表取締役会長 張 富士夫様を、記念講演の講師としてお迎えするとともに、製造業、物流業、流通業におけるロジスティクス先進企業から「わが社のロジスティクス～先進企業のロジスティクス・コンセプト」と題した内容で、講演をいただく予定になっております

この中部ロジスティクス記念講演会をとおして、支部10周年を祝いつつ、中部地域のロジスティクス関係者が一堂に会し、経験交流を行う格好の場となることと確信いたしております。

関係各位のご参加を心からお待ち申しあげております。

【主なプログラム】

■記念講演「企業経営におけるロジスティクス」

トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長 張 富士夫氏

■中部支部設立10周年記念レセプション(昼食交流会)  
■事例講演「わが社のロジスティクス  
～先進企業のロジスティクスコンセプト」  
キリンビール株式会社、西濃運輸株式会社、株式会社イトーヨーカ堂

【問い合わせ先】: 中部支部 青柳、大川 aoyagi@logistics.or.jp  
【内容詳細】<http://www.logistics.or.jp/fukyu/2009/chubu2009.htm>

★-----  
■「関西物流改善事例発表会2009」開催のご案内

★-----  
【会 期】2009年10月20日(火)13:15～17:10  
【会 場】大阪リバーサイドホテル  
【共 催】物流技術管理士会 関西支部  
【内 容】  
本発表会は、日々の物流現場で行われている優れた改善活動の事例発表を通じて、物流の実務担当者が現場での課題解決、合理化の手がかりやノウハウを共有し、物流現場力を強化することを目的としております。  
今回は、徹底したコスト削減を実現した改善事例や、お金をかけずに成果を得た改善事例など8件の優秀事例が発表されます。  
関係各位の積極的なご参加を心からお待ちしております。  
なお、詳細は下記URLをご参照ください。  
<http://www.logistics.or.jp/fukyu/2009/kansajirei2009.html>

【問い合わせ先】関西支部: 齊藤、角新 e-mail : saito@logistics.or.jp

★-----  
■「九州ロジスティクス講演会2009」開催のご案内

★-----  
【会 期】2009年10月22日(木)13:30～17:20  
【会 場】八重洲博多ビル  
【内 容】  
本講演会では、企業活動の原点である人材に焦点を当て、人材を活性化するマネジメント革新と人材育成に積極的に取り組んでいる先進企業事例やその方法・方策をご講演いただきます。  
特に、ロジスティクスの重要な機能の一つである物流には必ず現場業務が存在し、顧客サービスやローコストオペレーションの最前線を担っており、まさしく人材の活性化と育成が企業成長の鍵を握っていると言えます。  
人材の活性化に焦点を当てた本講演会は、九州・山口地域における今後の企業と経済の成長に繋がる多くのヒントを得られる最良の場と確信いたしております。  
関係各位の積極的なご参加を心からお待ちいたしております。  
なお、詳細は下記URLをご参照ください。  
<http://www.logistics.or.jp/fukyu/2009/kyushu2009.html>

【問い合わせ先】 関西支部: 佐藤、角新 e-mail:kadosin@logistics.or.jp

\*\*\*\*\*CGLNEWS III 配信について\*\*\*\*\*

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議  
代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)  
■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp  
(C) CGL NEWS All Rights Reserved.

\*\*\*\*\*